

『Java Runtime Environmentに関する注意事項』

このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000 用リモートコンソールオプション (GQS-VSS 7BR10EX、GQS-VSS7BR20xx、GQS-VSS7BR30xx) をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品を使用するにあたり、コンソール端末に Java Runtime Environment (以下、JRE) を導入する際の注意事項について以下に記載します。

コンソール端末に JRE 7 update25 ~ update45 のいずれかを導入し JRE の有効期限を過ぎている場合、または JRE 7 update51 以降のバージョンを導入する場合、リモートコンソールアプリケーションの起動時に **警告ダイアログが表示され、アプリケーションが起動できない場合があります**。これは JRE のバージョンアップに伴い、セキュリティポリシーが変更されたことにより発生するものです。

上記事象を回避するため、以下のいずれかの回避方法により運用いただけますよう、お願いいたします。

回避方法 1

JRE7 update25 より前のバージョンを導入する場合は、アプリケーションの起動が可能です。JRE 7 update25 以降のバージョンを導入している場合は、現在導入されているバージョンをアンインストールし、JRE 7 update25 より前のバージョンを導入してください。

回避方法 2

JRE7 update51 以降のバージョンを導入し、下記設定を行ってください。

- (1) Windowsメニューまたはコントロールパネルから「Javaコントロール・パネル」を起動してください。
- (2) 「セキュリティ」タブの「サイト・リストの編集(S)」を押下してください。
- (3) 「例外サイト・リスト」のウィンドウが表示されるため、「追加(A)」を押下し、対象のマネジメントインタフェースの URL (*1) を入力した後、「OK」を押下してください。
- (4) 「Javaコントロール・パネル」のウィンドウ内の「例外サイト・リスト」の項目に、(3) で入力した URL が表示されていることを確認し、「OK」を押下してください。

上記設定を行った場合でも、アプリケーションの起動時にセキュリティ警告が表示されます。セキュリティ警告が表示された状態で「実行(R)」を押下してください (*2)。

*1 URLはSSL/TLS通信の使用有無に係わらず” https://~ ” で入力してください
(例) https://192.168.100.100

*2 「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。(I)」のチェックボックスが表示される場合は、同項目にチェックをいれてください

以上により、アプリケーションを正常に使用することができます。

